

性別にかかわりなく個性と能力を十分に発揮できる

男女共同参画社会 をめざして

名古屋市は、女性も男性も、より働きやすく能力を発揮できるように、
それぞれが望む形で人生を選べる社会の実現をめざします。



「イーブルなごや ジェンダー平等パネル」
作成:2016年5月 植山女学園大学 吉田あけみ教授
イーブルなごや(名古屋市男女平等参画推進センター・女性会館)より

ある家庭でのシーンです。ちょっとヘンだと思いませんか？
裏面で解説します。

男女平等参画に関する講座やセミナーを実施しています。

詳しくは>

イーブルなごや

検索

【問合せ先】名古屋市総務局男女平等参画推進室
TEL:052-972-2234 FAX:052-972-4112 E-mail:a2233@somu.city.nagoya.lg.jp

何がヘンだった…？解説します！



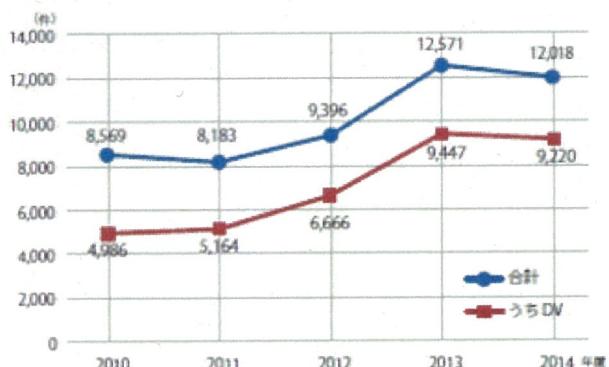
言葉のDVって？

言葉による暴力も、ドメスティック・バイオレンスになる場合があります。また、被害者は女性であるとは限りません。男性が被害にあう場合もあります。男女共に固定的な性別役割分担意識から自由になって、共に相手を傷つけていないかふりかえりましょう。「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担の見直しも始まっています。

DV相談件数の推移

女性福祉相談に占めるDV相談の比率が高いことがわかります。ようやくDVが相談すべき案件であると認識されてきた結果でもあります。その一方でデートDVについての理解はあまり深まっていません。名古屋市の「男女平等参画に関する大学生の意識調査」によりますと、被害経験が2割近くに上っており、「バカなどと、傷つく呼び方をされた」ことが何回もある経験は女性よりも男性に多く、12.6%にも上っています。男女ともに性別にとらわれることなく暴力のない関係を築きたいですね。

女性福祉相談件数(配偶者暴力相談支援センター及び社会福祉事務所)



出典：平成27年度子ども青少年局調べ(名古屋市)

「イープルなごや ジェンダー平等パネル」
作成：2016年5月 横山女学園大学 吉田あけみ教授
イープルなごや(名古屋市男女平等参画推進センター・女性会館)より

○相談できます○

<女性のための総合相談>

家族関係、暴力など家庭や職場、地域で女性が直面する様々な悩みをともに考えます。
相談はすべて無料なので、まずは専用ダイヤルに電話を。

電話 052-321-2760

月・火・金・土・日曜：10時～16時

水曜：10時～13時、18時～20時

男性の方はこちらへ相談して下さい

↓ ↓ ↓ ↓
電話 050-3537-3644

毎週水曜：18時～20時

第4日曜：10時～12時